

「顔の見える関係」から「手をつなぎ合える関係」をめざして

# ことう地域チームケア研究会

# たより

令和2年7月27日発行

## 第44回 ことう地域チームケア研究会 (ZOOMを使ったWeb研修) を開催しました

◆開催日時: 令和2年7月9日(木) 18:30~20:30

◆参加者: ZOOMでの参加者46名+α、くすのきセンター会場参加31名



# 権利擁護について

## ～キーパーソンが不在の方の在宅復帰支援～

☆今回のねらい

◎成年後見制度と地域権利擁護事業の制度の違いを理解しよう!

◎権利擁護について理解を深め、キーパーソン不在の方の支援におけるそれぞれの職種の役割や連携についてかんがえてみよう。

### 〔情報提供〕『権利擁護制度の活用』

#### 1. 「地域福祉権利擁護事業について」

彦根市社会福祉協議会 城戸正隆さん

#### 「地域権利擁護事業」とは

滋賀県内の市町社会福祉協議会では、認知症高齢者や知的障害者、精神障害者など判断能力の不十分な方が、安心して暮らしていけるよう、本人の意思決定にもとづき、福祉サービスの利用援助や日常的な金銭管理のお手伝いを行う地域福祉権利擁護事業を実施。

※ 全国的には「日常生活自立支援事業」という名称が一般的だが、滋賀県では「地域福祉権利擁護事業」を名称としている。また、本事業は社会福祉法上「福祉サービス利用援助事業」として位置づけられている。

#### こんな不安はないですか？

- ・福祉や介護のサービスを利用したいけど、自分では申し込めない...
- ・故郷で暮らす両親の金銭管理が不安...
- ・通帳やハンコ、大事な書類の置き場所を忘れてしまう...
- ・知的障害のある親戚の人がもらった年金をすぐに使ってしまう...
- ・水道代や電気代の支払いを忘れてしまう... etc

※障害者手帳等の有無は問いません。

※身体的に銀行に行けない人は対象になりません。

※契約能力が認められない方や、本事業では対応できないような財産を守る必要がある人、消費者被害を防ぎたい方などには「成年後見制度」をご利用ください。

#### 2. 「成年後見制度について」

彦根市権利擁護センター 野瀬純一さん

### ◆「法定後見制度」の3類型

	補助	保佐	後見
本人の状態	<ul style="list-style-type: none"> <li>○判断能力が不十分</li> <li>○もの忘れが多いが自覚はある</li> <li>○意思疎通は十分可能</li> <li>○契約書類などの理解は困難</li> </ul>	<ul style="list-style-type: none"> <li>○判断能力が著しく不十分</li> <li>○自覚しないもの忘れがある</li> <li>○日常の買い物くらいはできる</li> <li>○意思疎通は困難を伴う</li> </ul>	<ul style="list-style-type: none"> <li>○判断能力が日常的に欠けている</li> <li>○日常的な買い物もできない</li> <li>○会話が成り立たず、意思疎通は困難</li> </ul>
	判断能力 → 低くなる		

#### 後見人等の役割

##### <財産管理>

- ① 契約の締結 ② 費用の支払い

##### <身上監護>

- ① 日々の暮らしに必要な手配 (住居の確保、施設の入退所)  
② 健康や療養の手配 (医療の確保、介護サービスの利用など)

#### 後見人等ではできないこと

- 例1) 入院や手術など命に関わる医療行為への同意  
例2) 施設等へ入所する際の「身元引受人」

☆制度の内容や相談の流れなどについて詳しく説明をしていただきました。

## 【話題提供（事例報告）】『キーパーソン不在の方の在宅復帰支援』

<報告者>

彦根市立病院患者家族支援室  
彦根市地域包括支援センターひらた  
笑ケアプランセンター

田中久美子さん（医療ソーシャルワーカー）  
松居智和さん（社会福祉士）  
三橋泰幸さん（ケアマネジャー）

### 【本人の願い】

- 「今の家ではもう住めないで引っ越しがしたいと入院前から思っていた」
- 「金銭管理を信用できるところをお願いしたい」
- 「親族に連絡をとることは考えられない」

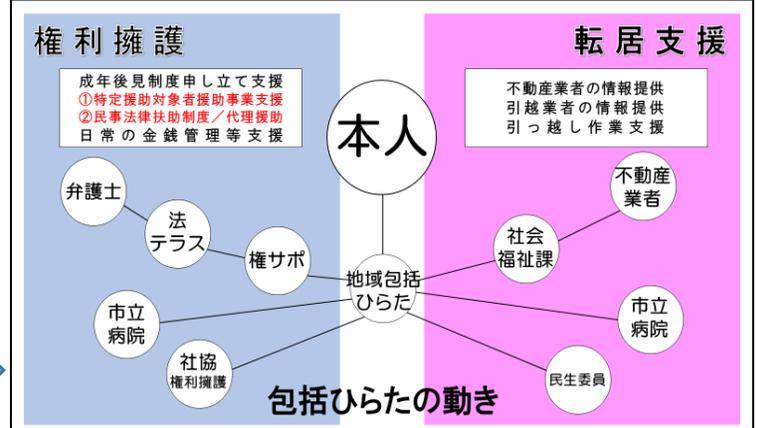
### 【課題】

- （支援方針決定のための初期カンファレンスにて）
- ・親族とは長期間にわたり音信不通の状況
  - ・金銭管理が困難
  - ・複雑な話が理解できない場面あり、易怒性もあり
  - ・病状やADLを考慮すると、入院前の住居に住み続けることは困難
  - ・在宅に戻ると、必要な支援の介入を拒否される可能性が高い
  - ・入院期間が有限である

☆入院前（外来通院時）から地域で地域包括や民生委員が関わりを持っていた。

☆入院早期から病院と地域側で情報共有ができ、本人の意向の確認・支援目標の設定ができた。

☆多職種・多機関が役割を理解し合い、協力し合って対応できた。  
☆制度をうまく活用出来た。



- ◎転居先の確保
- ◎地域福祉権利擁護事業の導入を検討。同時に成年後見制度市長申立を検討するも対象外となり、「特定援助対象者法律相談援助制度」の利用を検討

## 意見交換

『キーパーソンが不在の方への支援について、専門職・関係機関の役割や地域でのかかわりについて考えてみよう』

○事例報告を聞いて気づいたこと、感じたこと 等・・・

☆短い時間でしたが、ZOOM内と会場で、11のグループに分かれて意見交換を行いました。

- ◆よく知らない制度もあり大変勉強になった。自身の親族の今後のことについても考えさせられた。
- ◆事例では、入院前から病院、地域包括がかかわっていたため、入院中も早期から多職種がかかわり、いろいろな方面からの支援ができたことが良かったと思う。以前から地域と病院で支援が必要な方の情報共有ができていたことが退院に向けたスムーズな連携につながったと思う。
- ◆親族との関係が難しい場合でも地域でのつながりから本人の思いを探ったりすることができるのではないかと。近所の方など第三者ではできないこともあるが、普段から地域とのつながりを作っているとよいと思った。
- ◆抱え込まずにみんなで考える、専門職の役割分担と職域を超えてともに考え、連携し合うことが大事だと思った。
- ◆まだしっかりとしているうちにACPについて話し合うことが必要だと思った。
- ◆本人の意思がうまくみ取れない方、関係機関のサポートがなければ生活ができない人も多い。
- ◆制度がうまく使えないこともあり、現場では困ることもある。

次回は、

ホームページ「在宅医療福祉情報の森」で研究会の情報をご覧いただけます。

<http://kusunoki-jyoho-mori-kotou-shiga.or.jp/>

日時：令和2年9月10日(木)18:30~20:30

テーマ「地域リハビリテーション」

担当団体：市町地域包括支援センター/湖東圏域リハビリ職

\*9月もくすのきセンターからZOOMによるWeb研修です。

\*事前にメールでお申し込みください。参加方法など、詳しくはホームページ「在宅医療福祉情報の森」をご覧ください。



## こんなこと思いました



### 1. 権利擁護制度に関する情報提供について

- ・身寄りがない方にとって、金銭の管理や衣食住を適正に管理していただける制度はありがたいと感じました。まだまだ世間には周知されていませんが、専門家や周りの誰かが意識をする、目を配るようにすることが第一ですね。（歯科衛生士）
- ・制度の違いや手続きについて理解できた。
- ・とても参考になりました。制度を利用したことがあるが、内容について再確認できた。（介護支援専門員）
- ・特定援助対象者事業について勉強したいです。
- ・どちらの制度についても初めて聞く制度で、今回学んだ知識はとても役に立つ。今後その人に合った支援につなげていきたいと思う。

### 2. 話題提供（事例報告）について

- ・それぞれがしっかりと連携され、良いお仕事をされたと思いました（介護支援専門員）
- ・地域支援者や専門職の関わりで、その時に合った支援ができていたと思う。（介護支援専門員）
- ・患者様の中でもご出身が遠方ですでに親戚はなく、独居の方がいらっしゃいます。普段の何気ない会話の中でお困りのことなど把握しておく必要があり、今後はスタッフ全員で共有事項としたいです。（歯科衛生士）
- ・その方が、自分の意見を伝えられるように、早くに聞いておくことが大切なのだと思う。
- ・今回のケースのような方は多いと思います。とても参考になりました。
- ・入院されている段階でご本人の退院を見越して、支援者の輪を作っていたのが素晴らしいと思いました。
- ・具体的な支援内容を聞かせていただけて良かったです。薬剤師として何ができるのか、何を求められているのか考えさせられました。（薬剤師）

### 3. 本日のテーマについてもう少し知りたいこと

- ・民生委員さんの関りについて
- ・制度のはざまの方への支援について
- ・後見人とは、そもそもどんな基準で、どのような方が選ばれるのでしょうか。
- ・ACPについてもっと勉強したいと思います。
- ・他のキーパーソンが不在の方の支援についても知りたいと思った。
- ・制度についてなじみがないのでもっと詳しく知りたいと思った。
- ・後見人は意外と親族も多いと聞き、家庭裁判所で選ばれるようですが実際のお話をもう少し聞きたかったです。

### 4. その他の意見

- ・Web研修がうまく活用できるようになれば、自宅からの参加も可能になり、遅い時間でも都合が調整しやすいように感じた。
- ・音声聞き取りづらかったです。

【研究会に関するお問い合わせ：ことう地域チームケア研究会事務局】

- ◆一般社団法人彦根愛知犬上介護保険事業者協議会（TEL 49-2455 E-mail:info@gen-ai-ken-kaigo.jp）
- ◆彦根市医療福祉推進課（TEL 24-0828）